

医薬品の入手困難に 関する緊急アンケート

2023年9月

岡山県保険医協会

岡山県保険医協会

〒703-8266

岡山県岡山市中区湊487-1

TEL 086-277-3307

FAX 086-277-3371

E-Mail okayama-hok@doc-net.or.jp

医薬品の入手困難に関する緊急アンケート結果

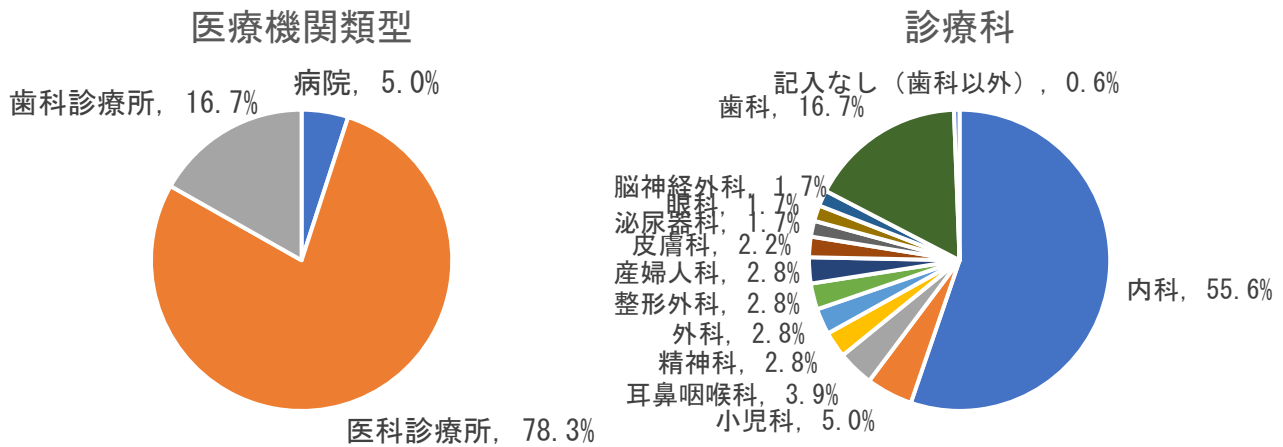
2023年9月23日

岡山県保険医協会

日医工と小林化工の薬機法違反に端を発する医薬品の不安定供給は、新型コロナ流行による追い打ちもあり、今なお事態の收拾に至っていません。岡山県保険医協会では「咳止めがまったく手に入らない」「免疫抑制剤がないので入院ができない」などの深刻な声が寄せられ始めたことから、2023年9月、協会院長会員を対象に、実態調査を行いました。

アンケート対象者 岡山県保険医協会院長会員
 アンケート実施期間 2023年9月11日～9月22日
 アンケート実施方法 2023年9月11日 FAX 一斉送信による
 アンケート有効回答数 180件 ※送信数937件（回答率19.2%）

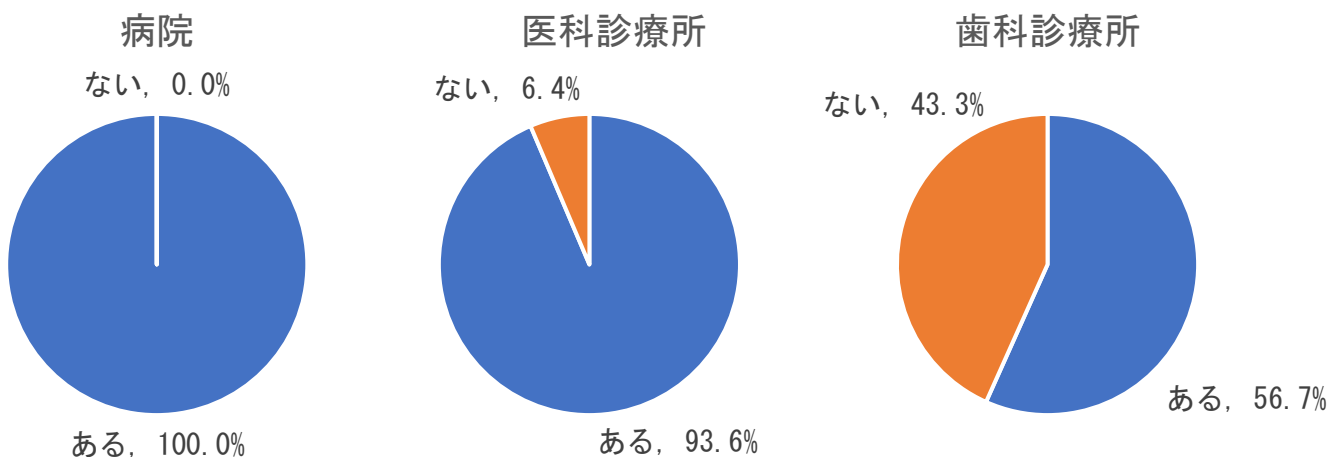
1、基礎情報（n=180）



| | | |
|-------|-----|--------|
| 病院 | 9 | 5.0% |
| 医科診療所 | 141 | 78.3% |
| 歯科診療所 | 30 | 16.7% |
| 合計 | 180 | 100.0% |

| | | | |
|------------|-----|--------|---------------------------|
| 内科 | 100 | 55.3% | 病院 5, 診療所 95 |
| 精神科 | 5 | 2.8% | 病院 2, 診療所 3 |
| 小児科 | 9 | 5.0% | |
| 外科 | 5 | 2.8% | |
| 整形外科 | 5 | 2.8% | |
| 皮膚科 | 4 | 2.2% | |
| 泌尿器科 | 3 | 1.7% | |
| 産婦人科 | 5 | 2.8% | 病院 1, 診療所 4 |
| 眼科 | 3 | 1.7% | |
| 耳鼻咽喉科 | 7 | 3.9% | |
| 脳神経外科 | 3 | 1.7% | 病院 1, 診療所 2 |
| 歯科 | 30 | 16.7% | |
| 記入なし（歯科以外） | 1 | 0.6% | |
| 合計 | 180 | 100.0% | 病院 9, 医科診療所 141, 歯科診療所 30 |

2、今年8月以降、入手困難な医薬品はありますか？ (n=180)



| | | |
|-------------|------------|---------------|
| 入手困難な医薬品がある | 158 | 87.8% |
| 入手困難な医薬品はない | 22 | 12.2% |
| 合 計 | 180 | 100.0% |

<参照：類型、診療科別>

| 類型 | 診療科 | 回答数 | 入手困難な医薬品 | | | |
|--------------|-------|------------|------------|---------------|-----------|--------------|
| | | | ある | | ない | |
| 病院 | | 9 | 9 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 内科 | 5 | 5 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 精神科 | 2 | 2 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 産婦人科 | 1 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 脳神経外科 | 1 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| 医科診療所 | | 141 | 132 | 93.6% | 9 | 6.4% |
| | 内科 | 95 | 90 | 94.7% | 5 | 5.3% |
| | 精神科 | 3 | 3 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 小児科 | 9 | 9 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 外科 | 5 | 5 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 整形外科 | 5 | 5 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 皮膚科 | 4 | 3 | 75.0% | 1 | 25.0% |
| | 泌尿器科 | 3 | 3 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 産婦人科 | 4 | 3 | 75.0% | 1 | 25.0% |
| | 眼科 | 3 | 2 | 66.7% | 1 | 33.3% |
| | 耳鼻咽喉科 | 7 | 6 | 85.7% | 1 | 14.3% |
| | 脳神経外科 | 2 | 2 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| | 診療科不明 | 1 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| 歯科診療所 | | 30 | 17 | 56.7% | 13 | 43.3% |
| 合 計 | | 180 | 158 | 87.8% | 22 | 12.4% |

① 全く入手できない医薬品

<病院>

| |
|---|
| 抗リウマチ薬、B型肝炎ワクチン、特定の抗生剤（メロペネウム、オーグメンチン）のほか、購入実績のない製品は入手の見込みなし。 ほか、希望する包装規格（入数、バラ製品、PTP製品など）を選択できない医薬品は多数あり（内科、病院） |
| ルジオミール、アモキサシ（精神科、病院） |
| メジコン錠（咳止め）、カロナール細粒（鎮痛解熱剤）、ツロブテロールテープ（咳止め）（精神科、病院） |
| ブスコパン、テプレノンカプセル、芍薬甘草湯、SG配合顆粒（産婦人科、病院） |
| 鎮痛解熱剤、抗生剤、咳止め（内科、病院） |
| 咳止め、亜鉛華軟膏（内科、病院） |

<医科診療所：内科>

| |
|--|
| トランサミン散（内科） |
| アストミン、トルリシティ（内科） |
| 咳止め（内科） |
| ビタメジン、咳止め、フスコデ、アストミン（内科） |
| ムコソルバンDS、サワシリンDS（内科） |
| カロナールS、アスピリンDS、トルリシティ皮下注、セフォチアム塩酸塩静注（内科） |
| 咳止め（フスコデシロップ）、鎮痛剤（SG配合剤）、漢方薬全般（内科） |
| 咳止め、漢方薬（内科） |
| 咳止め、小児のアセトアミノフェン（粉）（内科） |
| 咳止め、漢方薬（内科） |
| サワシリン（内科） |
| トリプタノール、メチエフ、PA配合錠、ペリアクチン（内科） |
| 咳止め（内科） |
| カルボシステイン（内科） |
| メジコン、アルピニー、アンビバ、ナウゼリンDS、セレキノ。以下時々欠品（フスコデ、ムコダイン、アストミン、レスプレ、葛根湯、ブスコパン）（内科） |
| 咳止め、マンジャロ（内科） |
| 咳止め（フスタゾール）（内科） |
| グルカゴン、パンスポリン、セファメジン、フィニバックス、フスコデ、バルプロ酸ナトリウム（内科） |
| 咳止め（メジコン）（内科） |
| メジコン、カフコデN、フスコデ（内科） |
| フスコデ（内科） |

| |
|---|
| リマチル、トリプタノール、フスタゾール、マンジャロ、オセンピック、トルリシテ ィ皮下注、オーグメンチン（内科） |
| マンジャロ、ニフェジピン（内科） |
| ルジオミール 10mg（内科） |
| メジコン、アスベリン、ムコダイン、カルボシステイン、オノン、漢方全般（内科） |
| アスベリン散・錠（内科） |
| 解熱剤、鎮咳剤（内科） |
| 咳止め（内科） |
| 咳止め、オーグメンチン（内科） |
| 咳止め（フスコデ）（内科） |
| 咳止め、嘔機止め、鎮痙剤（ブスコパンなど）。アセトアミノフェン、去痰剤（内科） |
| フロモックス顆粒、メイアクト顆粒、ホクナリンテープ、ナウゼリンドライシロップ （内科） |
| 咳止め（内科） |
| オルガドロン、トルリシティ、テグレトール、咳止め（内科） |
| 鎮痛解熱剤、咳止め（内科） |
| 咳止め、GLP-1 受容体作動薬（内科） |
| 亜鉛華軟膏、クラシエ防風通聖散エキス錠（内科） |
| 咳止め、痛み止め等（内科） |
| アスベリン、ムコダイン、オゼンピック（内科） |
| モンテルカスト、スルカイン（内科） |
| 咳止め、セデス（内科） |
| 鎮咳剤（内科） |
| ツムラ芍薬甘草湯（内科） |
| アストミン、トルリシティ（内科）トラネキサム（内科） |
| アストミン、オーグメンチン、漢方薬など（調剤薬局によって、まったく入手できな い or 入手困難である）（内科） |
| フスコデ（内科） |
| ゾーミックのジェネリック、カフコデ、麻杏甘石湯（内科） |
| 咳止め（フスタゾール、フスコデ）（内科） |
| 咳止め（内科） |
| メジコン等の咳止め（内科） |
| フスコデ（咳止め）（内科） |
| 去痰剤、鎮咳剤、一部の解熱剤（内科） |
| 咳止め等いわゆるカゼ薬全般、消化薬（内科） |
| カルボシステイン、シダキュア、漢方薬（内科） |
| カフコデ N、フスコデ（内科） |
| フスコデ配合錠、トルリシティアテオス、ツイミーグ（内科） |
| アスベリン、レスプレン、アストミン、タムスロシン、フスコデ（内科） |

| |
|--|
| レスプレン、アストミン (内科) |
| 咳止め (内科) |
| オノンカプセル、サワシリン細粒、アストーマカプセル、プラコデシロップ (内科) |
| トルリシティ注、アストミン、アスベリン (内科) |
| 咳止め (内科) |
| アドソルビン、キニジン硫酸塩錠 (原末のみ入荷) (内科) |
| カロナール (アセトアミノフェン) 細粒、トラネキサム酸錠、アゼルニジピン、ツイミーグほか (内科) |
| トルリシティ (内科) |
| カルボシステイン錠、セフメタゾン点滴 (内科) |
| 咳止め (メジコン)、去痰剤 (ムコダイン、カルボシステイン)、鎮痛解熱剤 (カロナール、アセトアミノフェン) (内科) |
| フスコデ (内科) |
| 抗生剤 (セフカペン、オーグメンチン)、咳止め (フスタゾール)、血圧 (シルニジピン、ロサルヒドLD) など (内科) |
| 鎮咳剤、去痰剤 (内科) |
| 咳止め (ムコダイン、ムコソルバン)、熱さまし (カロナール、アセトアミノフェン) (内科) |
| 鎮咳剤、去痰剤、抗アレルギー剤、鉄剤、抗生剤、鎮痛解熱剤 (内科) |
| 咳止め、抗生剤 (欠品した場合は他剤で対応している) (内科) |
| メジコン錠 (咳止め)、フルスルチアミン錠 (ビタミン剤) (内科) |

<医科診療所：精神科>

| |
|--|
| ピーエイ、PL 顆粒 (精神科) |
| PZC 散、ジアゼパム、チャンピックス、コントミン錠 (精神科) |
| アキネトン (抗パーキンソン剤)、アーテン (抗パーキンソン剤) (精神科) |

<医科診療所：小児科>

| |
|---|
| 今は咳止め、解熱剤は入荷ときどきあるが、抗生剤はほとんど入荷がない (小児科) |
| 去痰剤 (カルボシステイン細・錠)、抗生剤 (アモキシシリン)、鎮痛解熱剤 (カロナール細・錠)、トランサミン (細・錠)、フスタゾール錠、モンテルカスト (細・錠) (小児科) |
| ペニシリン系抗生剤 (ドライシロップなど)、気管支拡張剤 (添付剤) (小児科) |
| ブルフェン、ワイドシリン細粒、アスベリン T10mg、アスベリンシロップ、カロナール細粒、カルバマゼピン 100mg (小児科) |
| ナウゼリン OD 錠 (5mg、10mg)、カルボシステイン、シロップ、アンブロキソールシロップ、ツロブテロールテープ (0.5mg、1mg、2mg)、アストミン錠 10mg、アスベリン錠 10mg、アスベリン散、ワイドシリン細粒 20%、メイアクト小児用細粒 10%、トミロン細粒小児用 20%、トスフロキサシン細粒小児用 15%、オラペネム小児用細粒 10%、アジスロマイシン小児用細粒 10%、クラバモックス小児用 DS、バナン DS、 |

トスフロキサシン錠 (75mg、150mg)、フェロベリン配合錠、トランサミン錠 500mg (小児科)

喘息治療剤 (インターム吸入液) (小児科)

ナウゼリンDS (正吐剤)、フェキソフェナジンDS (抗ヒスタミン) (小児科)

<医科診療所：外科>

オーグメンチン配合錠、ビタメジン配合カプセル (入手困難)、ムコソルバン錠 (外科)

フスコデ、アストミン、アスベリン、コリオパン、オーグメンチン (外科)

トルリシティ皮下注、総合感冒薬の一部 (外科)

全く入手できないわけではないが不足している医薬品 (局所麻酔剤、抗生剤注射 (点滴用)、漢方薬、メルスモン注射、等) (外科)

咳止め、鎮痛解熱剤 (外科)

<医科診療所：整形外科>

オーグメンチン配合錠 (整形外科)

全く入手できないのではないが時間を要する薬 (抗生剤、消炎鎮痛剤、漢方薬) (整形外科)

フスコデ、メジコンなど咳止め全て、漢方薬 (整形外科)

<医科診療所：皮膚科>

セレスタミン (皮膚科)

アレグラ、フェキソフェナジン、アイピーディー、ブスコパン、トランサミン、セチリジン (皮膚科)

<医科診療所：泌尿器科>

夏前までは漢方薬が手に入らず、とても困っていました (泌尿器科)

<医科診療所：産婦人科>

アドナ錠、ビタミン剤 (産婦人科)

咳止め (産婦人科)

インターム吸入液、ホクナリンテープ、鎮咳剤、抗生剤 (クラリス以外)、アスベリン錠、デュファストン錠、アドナ錠、メルスモン注射 (産科)

<医科診療所：眼科>

抗生剤 (眼科)

<医科診療所：耳鼻咽喉科>

咳止め (錠剤)、麻酔剤 (キシロカイン4%) (耳鼻咽喉科)

アストミン (耳鼻咽喉科)

フスコデ錠・シロップ、アスベリン、カロナール、トランサミン、アストミン (耳鼻咽喉科)

アスベリン錠 (耳鼻咽喉科)

| |
|---|
| 咳止め（アスピリン、フスコデなど）、舌下免疫剤（シダキュア）、去痰剤（耳鼻咽喉科） |
|---|

< 医科診療所：脳神経外科 >

| |
|---|
| トリプタノール（薬局より在庫ない為、同等の薬剤への変更を求められる）（脳神経外科） |
|---|

| |
|--|
| 抗生物質（フロモックス、メイアクト、サワシリン、オゼックス等）、鎮咳剤（脳神経外科） |
|--|

< 医科診療所：診療科不明 >

| |
|------------------------------|
| インターール吸入液、カロナール細粒、セフゾン細粒（不明） |
|------------------------------|

< 歯科診療所 >

| |
|---------------------------|
| 抗生物質（メイアクト小児用細粒、サワシリン（歯科） |
|---------------------------|

| |
|-------------------------------------|
| サワシリン錠 250mg（7/24 発注、9/12 納品予定）（歯科） |
|-------------------------------------|

| |
|-------------------------|
| フロモックス（2週間ほど納品が遅れた）（歯科） |
|-------------------------|

| |
|-----------|
| スポンゼル（歯科） |
|-----------|

| |
|--|
| 小児用細粒（カロナール）、鎮痛解熱剤、サワシリン（抗生物質）（当院ではないとすぐ困る薬です）（歯科） |
|--|

| |
|-----------|
| スポンゼル（歯科） |
|-----------|

| |
|-----------------|
| カロナール細粒 20%（歯科） |
|-----------------|

| |
|-------------------|
| カロナール細粒、ロキソニン（歯科） |
|-------------------|

| |
|-------------------------|
| キシロカイン、スポンゼル、ビトラボンド（歯科） |
|-------------------------|

| |
|--|
| 鎮痛解熱剤（全くではないが業者より「入荷に時間がかかる」と言われている）（歯科） |
|--|

| |
|----------------------------------|
| セフカペンピボキシシル 100g、サワシリン 250mg（歯科） |
|----------------------------------|

| |
|------------------|
| トスキサシン 150mg（歯科） |
|------------------|

| |
|-------------|
| アモキシシリン（歯科） |
|-------------|

② 今後入手困難になりそうな医薬品

< 病院 >

| |
|-------------------------------------|
| パンテチン細粒、アドナ錠（カルバゾクロム錠）（止血剤）（精神科、病院） |
|-------------------------------------|

| |
|--|
| ビホナゾールクリーム、トラネキサム散、カルバゾクロムスルホン酸（産婦人科、病院） |
|--|

| |
|----------------------|
| 解熱剤、咳止めが供給不安定（内科、病院） |
|----------------------|

| |
|------------------------|
| 抗生物質（注射）、鉄剤（経口）（内科、病院） |
|------------------------|

| |
|---|
| 生食注 10ml シリンジ、ビタミン剤（内服、注射）、抗生物質、咳止め（脳神経外科、病院） |
|---|

| |
|---------------------|
| 咳止め、抗生物質、去痰剤（内科、病院） |
|---------------------|

<医科診療所：内科>

| |
|---|
| 引き続き、咳止め（内科） |
| 抗生剤、咳止め、トルリシティ（GLP-1）（内科） |
| 咳止め（内科） |
| アスベリンS、マンジャロ、ノイロビタン、メキシレチン塩酸塩カプセル（内科） |
| 咳止めシロップ、小児用デカドロン、エリキシル（内科） |
| いろいろあります（内科） |
| 消炎剤（トランサミン）（内科） |
| 抗生剤（内科） |
| メキシチール、アダラート、ホクナリンテープ、オノン、アスベリン、ムコダイン、フェロミア、フスコデ配合錠、ソランタール、メジコン、カロナール座薬（内科） |
| 血糖の注射（内科） |
| セフトリアキソン（内科） |
| SG 顆粒（内科） |
| フェルムカプセル、ポラプレジック、マーロックス、麦門冬湯、葛根湯（内科） |
| セフカペンピボキシル、カルボシステイン、ホクナリンテープ、セフトリアキソン Na 静注用 1g、サワシリン（250）、アリチア配合錠、フスコデ、ルジオミール 25mg、トランサミン 250mg カプセル（内科） |
| フスタゾール（内科） |
| へパフラッシュ、生食シリンジ（内科） |
| PA、ツムラ（29）（内科） |
| セレスタミン、ブスコパン、アダラート CR、鎮痛解熱剤、抗生剤、ミネリック、ホクナリンテープ、総合感冒薬（内科） |
| ツムラ（16：半夏厚朴湯）、ツムラ（109：小柴胡湯加桔梗石膏）、ツムラ（35：麻杏甘石湯）（内科） |
| トルリシティ、アストミン、フスコデ（内科） |
| PL、メトフォルミン（内科） |
| セレスタミン（内科） |
| トルリシティ（内科） |
| 咳止め（内科） |
| 咳止め、解熱鎮痛剤、抗生剤（サワシリン、オーグメンチン）、糖尿病治療薬（トルリシティ、オゼンピック、マンジャロ）（内科） |
| カロナール、フスコデ、フスタゾール（内科） |
| トスフロキサシン、PA 錠（内科） |
| 漢方薬（内科） |
| トラネキサム酸、葛根湯（内科） |
| 咳止め（フスコデ等。シロップも）、痛み止め（カロナール等）、抗生剤（セフカペンピボキシルなど）、血圧薬（アムロジピン、ニフェジピン等）、ビタミン B12 など、漢方薬（内科） |

| |
|---|
| オゼンピック等の糖尿病自己注射薬（内科） |
| アスベリン、漢方（内科） |
| 咳止め、鎮痛解熱剤、抗生剤（内科） |
| クエン酸鉄、ニフェジピンCR、カルボシステイン、一部の漢方（内科） |
| メジコン錠、アストミン錠（内科） |
| ムコソルバン、リマチル、セルベックス、ムコダイン（200, 500）、ノイロビタン、アマリール（内科） |
| 抗生剤（内科） |
| 咳止め、抗生剤（内科） |
| 咳止め、去痰剤、鎮痛解熱剤、抗生剤、喘息治療剤など（内科） |
| トルリシティ皮下注（内科） |
| マンジャロ（内科） |
| 咳止め、抗生剤、輸液（内科） |
| 鉄剤、糖尿病治療薬（トルリシティ）、ビタミン製剤（内科） |
| 咳止め、抗生剤（内科） |
| リボフラビン錠（ビタミン剤）（内科） |

<医科診療所：精神科>

| |
|------------|
| タスモリン（精神科） |
| SG 顆粒（精神科） |

<医科診療所：小児科>

| |
|--|
| アセトアミノフェン、アスベリン、トランサミン、亜鉛華軟膏単軟膏（小児科） |
| 抗生剤、気管支拡張剤（小児科） |
| 鎮痛剤。鎮咳剤、解熱鎮痛剤（ドライシロップ）（小児科） |
| アスベリン T20mg、アーテン錠（小児科） |
| 咳止め、鎮痛解熱剤、抗アレルギー剤（アレロック等）、喘息治療剤（パルミコート、ブデソニド、キプレス）、減感作療法薬（シダキュア）、抗生剤（小児科） |
| アセトアミノフェン（細粒、坐剤、500mg 錠）、シダキュア（減感作）、クラバモッククス DS（抗生剤）、アスベリン散・錠（鎮咳剤）、ホクナリンテープ、アストミン、フスコデ、メジコン（鎮咳剤）、トスフロキサシン DS（抗生剤）、ワイドシリン（抗生剤）、レボセチリジン DS（抗ヒスタミン）、SP トローチ、モンテルカスト錠（抗アレルギー）（小児科） |
| ブデソニド吸入液、セフジトレンピボキシル、トランサミン（小児科） |

<医科診療所：外科>

| |
|-----------------------|
| アンプロキソール、フスコデ（外科） |
| セルベックスほか、山ほどあります！（外科） |
| マンジャロ（外科） |

<医科診療所：整形外科>

アスピリン、チザニジン、セフカペン、カルボシステイン、クロモグリク酸ナトリウム吸入（整形外科）

抗生剤、解熱剤（すでにスムーズな入荷ではないです）（整形外科）

鎮痛剤（整形外科）

<医科診療所：皮膚科>

トランサミン（皮膚科）

どんどん増えると思います（皮膚科）

<医科診療所：泌尿器科>

ロセフィン（セフトリアキソン）点滴剤（以前より入手が難しい状況）（泌尿器科）

α 1 ブロッカー（泌尿器科）

<医科診療所：産婦人科>

プラノバル、エルゴメトリン（産婦人科）

パルミコート吸入液、ムコダイン、アドナ錠（産科）

<医科診療所：眼科>

抗生剤（眼科）

キシロカイン、抗生剤（セフェム系など）、粘弾性物質（手術用剤）（ヒーロン）（眼科）

<医科診療所：耳鼻咽喉科>

咳止め、去痰剤、ペニシリン系抗生剤（耳鼻咽喉科）

アストミン、ホクナリンテープ、アスピリン散、コデインリン酸塩（耳鼻咽喉科）

メジコン錠、セキコデシロップ（耳鼻咽喉科）

抗生剤（耳鼻咽喉科）

<医科診療所：脳神経外科>

スマトリプタン、咳止め、イコサペント酸エチル（脳神経外科）

感冒薬（脳神経外科）

<歯科診療所>

ロキソニン（歯科）

アモキシシリン（歯科）

抗生剤、鎮痛解熱剤（フロモックス←探して1社に在庫はあったが、もう無くなると言われました）（歯科）

メイアクト（少し前まで入手困難でした。今後も不安定そうです）（歯科）

サワシリン（歯科）

オーラ注、ロキソニン（歯科）

ペニシリン系抗生剤（歯科）

サワシリン（抗生剤）が品薄の為入荷しにくいとの案内がメーカーよりあった（歯科）

3、医薬品が入手できなくなったことで診療への影響は起きていますか？（n=180）

<病院>

| |
|--|
| ① 安定した入手が見込めず、入院受入が困難。 |
| ② 院内在庫量と必要量を照らし、患者選択や投与量調整（減量、処方薬剤の変更などの対応を要する。 |
| ③ 外来では調剤薬局が調剤対応できず、処方日数の変更や処方取り消しをせざるを得ないこともある（内科、病院） |
| 別の薬に変更したが、患者さんが不調となり入院となった（精神科、病院） |
| とりあえず類似医薬品に変更してもらっている（精神科、病院） |
| 院内処方ができず院外処方に変更した（産婦人科、病院） |
| 代替の薬品も入手できず困る（内科、病院） |
| 他剤への切り替えや処方日数を制限している（内科、病院） |
| 医師に処方変更を検討してもらうなど手間がかかり効率が悪くなった（内科、病院） |
| 薬剤を変更しなければならない（内科、病院） |
| メーカーや剤型の切り替えで何とか対応しているが、それに関する業務の増加により従来の業務が逼迫している（脳神経外科、病院） |

<医科診療所：内科>

| |
|--|
| 粉にして対応や、他剤へ変更（説明が大変）（内科） |
| 代替品の使用で乗り切っている（内科） |
| 代替薬への処方変更（内科） |
| 薬がないことを説明し、がまんしてもらうしかなくなる（内科） |
| 小児の喘息等の治療に影響有（内科） |
| インフルエンザ、新型コロナ感染症が増加する中、咳嗽の症状はほとんど認める症状で、また、それらの感染症の後遺症として数か月認める症状のため、絶対になくってはならない薬剤である（内科） |
| 必要な治療ができない（内科） |
| 困ります（内科） |
| 今は散剤や現有する漢方薬で対応するも、処方は困難な状態（内科） |
| 処方できない（内科） |
| 十分な在庫が確保できているので当面診療には影響がないといている（内科） |
| 症状を改善する薬の組み合わせができにくい（内科） |
| 処方日数の制限、漢方薬での代替、1日当たりの服用日数の制限（内科） |

| |
|---|
| 薬局で咳止めが不足しているため、近隣の薬局に毎日の在庫確認をしている。薬局によって在庫の薬剤が異なるので処方後患者さんへの案内が大変であり、薬局ごと薬の受け渡し方が違うのでその説明に時間がかかる（内科） |
| 特になし（内科） |
| 治療ができない、特に内科は、薬でしか治療できないのだが、咳止めがなくて咳の患者の治療ができますか。お答えいただきたい（内科） |
| 処方を減量、屯用にする（内科） |
| 新型コロナ陽性、急性上気道炎、慢性気管支炎など急性期の疾患、症状に対し処方できず困っています（内科） |
| 今のところ在庫の使用、薬剤の変更で対応していますが、抗生剤点滴ができなく経口投与するしかなくなる。急性肺炎、腎盂腎炎、扁桃炎、外加療が難しくなり、入院をお願いせざるを得なくなります（内科） |
| 処方内容の変更、制限など（内科） |
| 咳止めが必要な場合は院外処方に対応しています（内科） |
| コロナに罹患した咳症状のある患者さんへの処方が難しい（内科） |
| 代替薬使用。まだ残在庫があるので、今のところ起きていない（内科） |
| 治療ができない（内科） |
| マンジャロ入手できず糖尿病、重度肥満治療が進められない患者さんが出てきています（内科） |
| 患者に必要な薬剤の処方ができない（内科） |
| 処方ができない（内科） |
| ①小児、妊婦、授乳中の方に処方できない、 ②症状によりの確な薬の選択ができない（内科） |
| 処方日数の短縮（内科） |
| 咳の激しい患者さんに薬が出せない（内科） |
| 鎮咳効果不十分にて再来増えている（内科） |
| 日数を減らしたり発熱外来患者の受診可能枠を短くしたりして対応しています（内科） |
| 病気そのものの治りが悪く長引いている（内科） |
| 症状にあった処方が困難（内科） |
| 代替品を探すのが大変。代替品もない場合がある（内科） |
| 効果を期待する医薬品がないので影響大（内科） |
| 困っていますが、現在のところ何とかなっています（内科） |
| 抗不安薬、抗うつ薬、GLP-1 など、心療内科、糖尿病内科を専門でしているので、入荷がない時大変困る。心療内科の方は薬がなく、体調が悪化された方もおります（内科） |
| 多々あるが今のところほぼなし（内科） |
| 処方時に困る（咳止めが少ない）。オゼンピック、トルリシティがないことで他の注射薬の指導をした（内科） |
| 院外処方の場合、薬を置いていないことがある（内科） |
| 発熱外来をしながら症状に応じた薬処方できない（内科） |

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・処方の変更や処方せず診察。 ・診療時間の延長。 ・使い慣れていない薬剤のため患者に説明（内科） |
| 治療、処方ができない（内科） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・上気道炎など症状のコントロールが難しい。 ・最適な抗菌薬が選べない。 ・ピロリ菌の除菌にも支障をきたすのではと懸念しています（内科） |
| 薬品ではないが気管カニューレや吸引チューブ、カテーテルなどの医療材料の供給もコロナ以降、悪化のままが多い。医療材料支給のサイクルを延長せざるを得ない（内科） |
| 咳止めが困ります。フスコデが全くない状態が数か月継続しています（内科） |
| 今のところ起きていない（内科） |
| 後発品を先発品に変更しないといけなくなる。風邪薬が入手困難なため処方を変更する必要がある（内科） |
| 咳止めが必要な患者さんに薬を処方することができない（内科） |
| 今まで使用していた咳止めが入手できなくなり、入手しやすいメーカーに変更して対応している（内科） |
| 希望する日数の半分しか処方できないので、治療が中途半端になる（内科） |
| 必要より短くしか処方できない（内科） |
| 処方量の調整（内科） |
| 処方日数制限（発熱外来）（内科） |
| 薬をよく変更することで患者が間違えたりすることが増えた。同じ薬でも会社の違う薬品を取り間違えることもあった（内科） |
| 投薬に制限が出て患者の希望にそえない（内科） |
| 治療困難（内科） |
| 起きている。処方薬に限られる。日数も少なめで対応（内科） |
| 院外処方箋で咳止めを処方しても患者が行く薬局が違くと別の咳止めに変更を依頼される（内科） |
| 必要なお薬の処方ができず影響を受けている。困っている（内科） |
| コロナ感染などの人の咳止めが出せなくなる（内科） |
| 院外処方にせざるをえなかったり薬を変更したりしている（内科） |
| 処方が限られてきている（内科） |
| 治療に支障が出ている（内科） |
| 院外処方薬局を複数チェックしている（内科） |
| 診察しても薬が処方できない（内科） |
| 近頃コロナが多く、咳止めを所望されるが、なくなると困るので少なめに処方している（内科） |
| PT-INR、HbA1c、検査センターに提出しました（検査試薬入手困難だったため）（内科） |
| 小児の解熱鎮痛剤の処方に苦労する。降圧剤の変換を余儀なくされる。糖尿病のコントロールに苦慮（内科） |

| |
|--|
| 薬の変更が必要（内科） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・胆管炎に対してセフメタゾンの点滴を開始したが、入手困難で途中で中断となりそうになった（この時は無理を言ってなんとかなった）。 ・カルボシステインの処方は多くの患者に半量にする、他剤へ変更するなど協力をお願いしている（内科） |
| 欠品のため、先発品と後発品をさまざまなメーカーから取り寄せる状況であり、都度、先発品だったり後発品だったり、処方名称や薬のシートの外観も変わってしまうため、患者さんの混乱につながる事例多々あり（内科） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・薬の変更に対して患者さんへの説明を納得してもらう手間が増えた。 ・薬の変更が繰り返されるため、薬剤の在庫管理が煩雑である（内科） |
| 処方薬品の日数制限、薬剤の変更（内科） |
| 診察困難の状態である。感染症の検査（コロナ、インフルエンザ、胸 XP）しにくい（内科） |
| 代替品でなんとかまわっている（内科） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・細粒が入荷しないため錠剤を分題して使用しており、院内での処方に時間がかかる。 ・入荷しない薬剤を他のものに変更したことで患者さんの支払額が増えた。 ・院内で処方していた薬剤を院外処方へ変更した。 ・注射（トルリシティ）が入荷しないため、必要分を受診時に渡せず患者さん宅に届けている（内科） |
| 咳止めを処方することができず、漢方やシロップ剤等で対応することもあるが、咳を抑えることができない（内科） |
| 多少あるが軽微です（内科） |

<医科診療所：精神科>

| |
|----------------------------------|
| 他の類似薬に変更することで何とかなっている（精神科） |
| 患者の状態が悪くなった（精神科） |
| 他の医薬品に変更して副作用が出たり合わなかった人がいる（精神科） |

<医科診療所：小児科>

| |
|---|
| 漢方薬で代用しており、今のところ大きな問題はない（小児科） |
| 患者に我慢していただくこともある（小児科） |
| 処方ができない（小児科） |
| ドライシロップが入手できないため、錠剤を粉砕して処方している。溶連菌にペニシリンを処方したいが足りないため、セフェムで代用している（小児科） |
| 適切な治療が困難です（小児科） |
| 咳が激しい場合、気管支炎、肺炎などに対して咳止めのアスベリン、アストミン、抗生剤が非常に少なくなったり、ない場合もある。非常に困った状態になっている（小児科） |
| 十分な治療ができず困っている（小児科） |
| 患者の希望する薬が出せない（小児科） |
| 足りなくなりそうと言いながら薬局の方で確保できている（小児科） |

<医科診療所：外科>

| |
|---|
| 大いに影響あり。効きもしない代替薬を処方せざるをえず、医師として恥ずかしい（外科） |
| 患者さんが薬を求めて調剤薬局を探すため、門前薬局ではなく、在庫している薬局を教えてくださいとか探してくれと言われていた。薬がないのが病医院のせいと言われる（外科） |
| 訪問診療の患者なので入ってこなくなったら困る（外科） |
| ・麻酔剤や抗生剤が不足している為、手術の予定をこわごわ入れています。 ・メルスモン注射液が入荷不足である為、治療をしてあげたい患者さんを断っている状態があります。 ・処方しても薬局にない薬品が多く、薬局からたびたび連絡があり苦労しています（外科） |
| 現在は他の薬に変更して処方している（例：ブスコパン→カロナール、フスコデ→吸入薬）（外科） |

<医科診療所：整形外科>

| |
|----------------------------------|
| 違う抗生剤を処方している（整形外科） |
| 患者さんにお渡しできず再度来院をお願いすることがある（整形外科） |
| 薬の処方できない。転医紹介されても薬が出せない（整形外科） |
| 代替薬を処方している（整形外科） |

<医科診療所：皮膚科>

| |
|--|
| 処方期間を短縮せざるを得ない（皮膚科） |
| 院内、院外処方できないため、患者さんに説明して、ないものは出せないことを説明しています（院内調剤しているため）（皮膚科） |

<医科診療所：泌尿器科>

| |
|---------------------------------------|
| 在庫を切らさないよう早めに注文している（泌尿器科） |
| ハルナール、ユリーフの出荷制限のため処方変更が必要となっている（泌尿器科） |

<医科診療所：産婦人科>

| |
|----------------------------------|
| 診療サイド不安です（産婦人科） |
| 現在ある医薬品をやりくりして何とかしのいでいます（産婦人科） |
| 疑義照会の件数が増えた。医師の意図した投薬加療ができない（産科） |

<医科診療所：眼科>

| |
|--|
| 患者さんに渡せない（眼科） |
| ・抗生剤を違うものにかえたりした。 ・粘弾性物質は他業者にかえようとしたが取引実績がないと数の制限があり今後入荷が減ると手術ができなくなる（眼科） |

<医科診療所：耳鼻咽喉科>

| |
|--|
| 患者さんの十分な治療ができない（耳鼻咽喉科） |
| 特になし（耳鼻咽喉科） |
| 代替薬を取り寄せてもらう等、門前薬局とは相談をしてなんとか処方できているが、他の薬局の状況は分からないので困る（耳鼻咽喉科） |

| |
|--|
| 錠剤がなく漢方に変更したりしている（耳鼻咽喉科） |
| メジコンに切り替えてなんとか対処している（アスピリンが入手できない）（耳鼻咽喉科） |
| 咳止めがなく代用で作用の異なるものを使用。本来の治療ができない。 シダキュアがなく舌下療法が開始できないため、希望者を断っている。 抗生剤の使用を他の流通品に変えている。効果が出ないケースもある（耳鼻咽喉科） |

<医科診療所：脳神経外科>

| |
|-----------------------------------|
| 薬剤変更がある場合、いつもより診察に時間がかかります（脳神経外科） |
| 投薬ができない（脳神経外科） |

<医科診療所：診療科不明>

| |
|--|
| 喘息治療にインタールが使用できないため、患者さんの症状の改善が遅れる可能性有（不明） |
|--|

<歯科診療所>

| |
|--|
| 直接の影響はない（歯科） |
| 処方箋を出すように変更するしかないと思われる（歯科） |
| なんとか処方にギリギリで入荷できそう（歯科） |
| 今のところ大丈夫です（歯科） |
| 代替品でなんとか。止血のためのスポンゼルはきつい（歯科） |
| 小児に対し、錠剤を処方（飲める子に）（歯科） |
| 抜歯後、止血にとっても苦労します。ないと困ります。埋伏抜歯後、止血が2時間止まらなかった（歯科） |
| カロナールやメイアクトは小児歯科の治療で90%以上は処方する薬剤なのでなくなると困ります（歯科） |
| 小児用の鎮痛剤（カロナール細粒）を院内処方では出せなくなったため、院外処方では患者にご足労をかけています（歯科） |
| 今のところ在庫があるので診療はできています。全くなくなったときにはそれに代わる物ですしかないのかと思います（歯科） |
| 現状ストックで足りているが長期となると不安がある（歯科） |
| 別の薬での対応にせざるを得ない（歯科） |
| 炎症がある患者さんへの投薬を別の医薬品に代替しなければならない（歯科） |
| 抗生剤が処方できない（ジェネリックを処方できない）（歯科） |
| 院外処方箋でできる処方をした際に入荷が遅れている為同系の別の処方薬へ変更してもよいかとの疑義照会が調剤薬局よりあることがある（歯科） |
| 代用できる薬に変更している（歯科） |

4. 医薬品の不安定供給が今なお解消されていないことについて、どうお考えですか？あわせて国への要望もお聞かせください。(n=180)

<病院>

| |
|---|
| 出荷調製品と連動するように代替品の出荷も制限されることが多く、代替品の入手も困難となることが多い。また、供給不安より必要以上に在庫を抱えている現状もあり、その結果、薬不足が助長されているように感じている（内科、病院） |
| 理由が分からないが常態化している。異常だと思う（精神科、病院） |
| 新規の入院患者が当院の採用薬ではない医薬品を服用していた時、今まで購入したことがない新規は受けませんと断られることがある。こんなことが起きるとは薬剤師を40年以上してきたが、考えられない。国は診療報酬とともにもっと本腰を入れて考えてほしい（精神科、病院） |
| メーカー側も薬価が下がり続けているなどの背景から廃業を余儀なくされているケースがあり、製造が一社に集中してしまい、流通がおいつかないことがあるのではと思います（産婦人科、病院） |
| 国がジェネリックへの切り替えを進めるのであれば、供給の安定策も国の方できちんと定めてほしい（内科、病院） |
| 国のジェネリック推進策の中で多くのジェネリックメーカーが淘汰される予測はついていたのに、それを見越した対策が国はできていなかったように思う。国主導で流通量の調整をするくらいのものであればいいのでは（内科、病院） |
| 注文した薬が予定通りに納品しないことになり、さまざまな業務が増える。それが数多くの薬になると対応にそれなりの時間がかかる（労働時間の増加、コストの増加）。現場は3年が経過しても解消しないことに疲弊している（内科、病院） |

<医科診療所：内科>

| |
|--|
| どうにかしてほしい（内科） |
| 何とかしてほしいの一言（内科） |
| 不安定供給について、一般市民への情報提供が適切に（十分に）なされていないように感じる。現場の責任のように認識されがち（内科） |
| 輸入してでも調達できませんか？（内科） |
| あきらめしかないです（内科） |
| なんでもかんでも後発品を認可してきた国の責任が一番問題（内科） |
| 私が開業して毎回薬価が下がり続けています（32年間にわたって）。これでは薬剤を製造する意欲はなくなります。製造しても赤字なので（内科） |
| 早く何とかして！マスコミもあまり言わないのは何故？（内科） |
| 薬価をメーカーが決められずに値上げもできないため国内のメーカーは利益の出ない薬剤を外国に依存している。使用量の多いものは薬価を上げ、安定的な国内供給ができるようにすべき（内科） |
| 国の無策（内科） |
| 結果として価格が高い状態で買っている（内科） |

| |
|--|
| 一部メーカーに注文が殺到し欠品しているという話を卸会社の方からよくお聞きするので、製造を分散できればと思います (内科) |
| 国政の基盤は平和と安全、健康保持にあると思いますが、一般に使う薬がなくて国民の健康は守れないと思います。国の無策がこのような状態を招いたものと思います (内科) |
| 患者さんにご迷惑をおかけしていることが大変申し訳なく思います。3年以上経過しているにもかかわらず、対応が追いつかないのは何故なのかと思います。需要の多い薬を増産し、少ない薬を減産する等、何か対策をしていただければと思います (内科) |
| なぜ不安定になるのか、はっきりさせてほしい (内科) |
| ジェネリック医薬品の再考を (内科) |
| 現在困っている患者への対応を充分できるよう1日も早い解決を願う (強く要望する) (内科) |
| 政府 (厚労省) の方針では (?) 薬剤使用 (処方) を抑制するつもりでは? (内科) |
| 薬機法自体の妥当性は現実に沿って見直されたりしているのでしょうか (内科) |
| 他にも薬価が低いことで風邪薬で使用するような安価なものを製薬メーカーが作りたがらないのも一因とされています。我々よりも薬メーカーに事情を聞いてください (内科) |
| ジェネリックメーカーの欠品があるので、その都度他のメーカーへ変更するなど対応に困ることがあります。先発に戻そうとすると在庫がなく、戻せないこともあります。特許が切れたら先発品の薬価を下げればよいと思います (内科) |
| 対応に時間がかかりすぎている。早急に安定供給すべきである (内科) |
| 院内処方の処方日数を減らさないといけないかもしれない。長期処方を控えめにする。院外処方に切り替えていく。減薬可能な薬は中止とする (内科) |
| 安定供給を望む (内科) |
| 根本には無理やりジェネリックを押し進めたことがあると思います (内科) |
| 医療の質を保持するためには薬価を含め、適正な診療報酬改定、薬価改定が必要と考えます (内科) |
| ジェネリックメーカーに対して支援が乏しく、ラインの拡大や人手を増やすことができないため数年にわたって解決困難であると考え。国の姿勢を改めなければ解決できるとは思えない (内科) |
| 日医工、小林化工の薬剤は個かもありよく利用していたのでとても困っている。Covid-19増加の逼迫の中、どうにかしてほしい。一部稼働してほしい (内科) |
| そもそも政府 (厚生労働省) にこの問題を解決する気がないのではないかと感じています (内科) |
| 薬がないことに対して患者からのクレームがある。マスコミ等で国民に知らせてほしい (内科) |
| ここまで緊迫するまで国は何をしていたのでしょうか。現状や今後の見通し、対策について提示していただきたいです (内科) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の製造過程の一部省略など昔からの事実。にもかかわらず国がジェネリックに舵を切った (製造方法など点検もせずに) ・薬価が低いので作っても利益なしでメーカーも作らない。 |

| |
|--|
| ・今はすべて厚労省が原因（内科） |
| 供給不足の薬については薬価を大幅に上げてメーカーが利益を出せるようにしないと作らないと思う（内科） |
| 行政の責任である（内科） |
| 早く安定するよう希望します（内科） |
| 薬価が下がりすぎて採算が取れない。だから製造しない（内科） |
| 薬価の値下がりによる継続困難というのはいかかなものか（内科） |
| 問題のあったメーカーの責任は重大だが、今まで看過されていたものが急に問題点を指摘され、後の重大な社会的影響も考えず製造停止になったことは国の責任でもある（内科） |
| ・ジェネリック薬品会社の厳重な指導や管理場合により取り消し。 ・国の十分な備蓄（内科） |
| 国が管理、製造するとよい（内科） |
| 特に抗菌薬について重要性を鑑みて適正な薬価が付けられる必要があると考えます（内科） |
| 原薬の調達不足については、国外からの調達が停滞、行き過ぎた円安を是正しないと材料高騰で影響大である（内科） |
| 現場は本当に困っている状況を国は理解できているとは思えません。もう少し現状を把握して柔軟な対応を臨みます（内科） |
| 少なくとも基本的な薬は安定的に供給されるようにしてほしい（内科） |
| 長年販売されて薬価が低い薬の販売が中止になるなどメーカーの利益が出ないため必要な薬が患者さんに提供できないことに対して、国はサポートをしてほしい（内科） |
| 財務省、厚労省は医療費削減を第一に考えて政策を行っている。にもかかわらず後発品の安定供給に何の手も打たないのでは片手落ちです（内科） |
| メーカーの責任感がなくなっている。高薬価の新薬にシフトさせるための古い薬潰しの面もあるように感じる。古い安全な良い薬を使い続けられるように薬価の適正な決定が必要。天下りも関係していると思う（内科） |
| 一部の後発品の入手困難（内科） |
| 薬価が安すぎるのでは？（内科） |
| 身体や病状に問題がないようであれば法律の内容を改善する必要があるのではないのでしょうか。メーカーも採算があわなければ生産できなくなるし、国での保障なども考えるべきかと。（内科） |
| 長年使用していた廉価な薬をメーカーが製造しないなど。薬価を下げての医療費抑制策に無理が生じている（内科） |
| 国の代わりに供給が確立されていない（内科） |
| 国の管理も必要、製薬業協会等の関与も必要、と思われる（内科） |
| 供給が不安定な状況が続いており、何とか対策を行ってほしい（内科） |
| 薬価の下げ過ぎではないか。逆ザヤになることも多く、稼働低下の一因になっていると思う（内科） |
| 漫然と不要な薬を出す医師、希望する患者の風習を改善するよう働きかけてほしい（内科） |

| |
|---|
| 近い将来、医療の崩壊を招く危険をはらんでいると考えます（内科） |
| 詳細は分からないが薬剤が不足していることに対して早急に対応していただきたい（内科） |
| ジェネリックメーカーでは、日本の場合、同じラインで多種類の製品を作っているので急な対応は無理でしょう。薬価も下げるばかりでなく上げる必要もあると思います。世界の場合、原材料をコストの低い中国、インドなどで使っており、1回ミスが起こると抗がん剤まで手に入らなくなる（内科） |
| 診断できても薬での加療ができない状態が続けば患者さんに担当不能な状態がやってくることは目に見えている。医療の礎がゆらぐ恐れがあるように感じます（内科） |
| 原因が分かりません。困ります（内科） |
| 毎年薬価を下げ過ぎが一因と思う（内科） |
| 3年にわたり医薬品の不安定供給が継続している。この間、医療機関は代替薬品の確保や患者説明に時間と労力を費やしている。この現状について監督すべき立場にある厚労省からの説明が不十分である。厚労省にはこれまでの経過と今後の見通しを示してほしい（内科） |
| 責任感が欠如している。計画的に改善を（内科） |
| 後発品薬価の適正化が絶対必要と考えます（内科） |

<医科診療所：精神科>

| |
|---|
| 国の指導でジェネリックに変えたら入手困難が続いている。国の責任で早急に解決してほしい（精神科） |
| 大変困ります（精神科） |
| 特に安価な医薬品がよく不足している。必要とされる薬は必要（精神科） |

<医科診療所：小児科>

| |
|---|
| 今は特に意見はありません（小児科） |
| 先行不安。安定を願う（小児科） |
| 国は現場の現状を理解できていないと思う。テレビなどマスコミを通じての政府の考えは耳にしていない（小児科） |
| 製薬も安全保障を考え適切な価格設定、補助金投入などしてスムーズな医療供給ができるようにしてほしい（小児科） |
| 早急に薬の供給をお願いします（小児科） |
| このような状態は絶対に許せません。とにかく早く回復させてほしいです（小児科） |
| 国の責任問題。薬を安く買いたただけではダメ（小児科） |
| 早急な対応をお願いしたい（小児科） |
| 後発品の安定供給のためにはある程度の価格保証が必要（小児科） |

<医科診療所：外科>

| |
|--|
| 今までなんともなかったんだから、国はもう少し寛容に対処したら良いのでは？（外科） |
| 国は何をしているのか？この3年何をしたのか？教えてください（外科） |
| 3年が経過して医薬品の供給がよくなるどころかだんだんと不足品目が増えて（卸さんが言っていましたが、今 5,000 品目あるらしい）本当に困っております。時々患者さんに不 |

足薬剤を伝えると「日本は本当に先進国家なんだろうか？」と言われることがあります。コロナ、物価高と医療業界は大変な時代に突入している感じがしております（外科）

不安定供給は現場では大変困ります。調達が行えるよう善処して下さい（外科）

<医科診療所：整形外科>

物価上昇であるにもかかわらず薬価は据え置き。薬価を上げるべきではないでしょうか？安い薬価の薬が特に入手困難な気がします（整形外科）

そろそろ正常化（元に戻ってほしい）（整形外科）

<医科診療所：皮膚科>

- ・薬価を下げれば利益が出ない薬を無理には製造しないと思います。
- ・大病院、薬局に多くが納品され、医院には回ってこないです（皮膚科）

<医科診療所：泌尿器科>

薬価改定による薬価下落によりメーカーが資金難に陥る可能性があり、国はメーカーを保護するような施策を検討する必要がある（泌尿器科）

<医科診療所：産婦人科>

早く現状打破してほしい（産婦人科）

今でも突然「出荷制限」となる医薬品もあり、患者さんが安心して治療を受けられない状況なので、早期解決を望みます（産婦人科）

<医科診療所：眼科>

メーカーに対して国が積極的に指導していくべきだと思います（眼科）

薬品の本当に必要な人にいきわたるよう見直す。メーカーの点検の迅速化と安定供給に向けての促進と補助（眼科）

<医科診療所：耳鼻咽喉科>

特になし（耳鼻咽喉科）

薬価が安すぎでメーカーが作れない。原薬が輸入できないときいている（耳鼻咽喉科）

なぜ不安定供給が起こっているか、また、政府としてはどのように対応しており、いつ頃までに解決できるのかを説明してもらいたい（耳鼻咽喉科）

原因究明とその報告を厚労省に行ってほしい。安定供給のためのルール作りをお願いしたい。他のメーカーも製造に違反があったのかと疑ってしまう（耳鼻咽喉科）

<医科診療所：脳神経外科>

薬剤の欠品がないよう早急に解決してほしいです（脳神経外科）

早く供給できるようにして下さい（脳神経外科）

<歯科診療所>

国の責任で解消すること（歯科）

厚労省は実態を知っていないのではないかと（歯科）

調剤薬局の方が患者への説明等の対応が大変とのこと。国家としてどのような対応がされているのかが伝わってこない。今後の見通しも不安（歯科）

| |
|---|
| 特にありません（歯科） |
| 失言とかワイロのニュースはもういいので、もう少し国民のためになることを考えてほしい（歯科） |
| 薬価が低いため（歯科） |
| できるだけ早く解決してほしい（歯科） |
| 特に麻酔はないと治療できません。ないのなら他の物を新しく作るなど対策を早めにしていただきたいです。ずっと手に入りにくい状況が続いているので、いつまで続くのかと…長すぎる気がします（歯科） |
| ジェネリック医薬品の使用を強く勧めているにもかかわらず、供給不足を招いている国の施策は怠慢としか言いようがない（歯科） |
| 薬の供給を安定させてほしい（歯科） |

医薬品の入手困難に関する緊急アンケート結果 別紙

2023年9月23日

岡山県保険医協会

病院、医科診療所で入手できていない医薬品一覧（薬効別）

① 全く入手できない医薬品 ※かっこ内は複数回答の数

| | |
|---------------|---|
| 鎮痛解熱剤 | 鎮痛解熱剤（銘柄の記載なし）(8) SG 配合顆粒・剤(2) アセトアミノフェン(4) カロナール(9) セデス ブルフェン |
| 小児用鎮痛解熱剤 | アルピニー アンビバ |
| 鎮咳剤 | 咳止め（銘柄の記載なし）(33) アストーマカプセル アストミン(12) アスベリン(2) フスコデ(17) フスタゾール(5) プラコデシロップ メジコン(10) メチエフ |
| 去痰剤 | 去痰剤（銘柄の記載なし）(5) アンブロキシソールシロップ カルボシステイン(7) ムコソルバン(3) ムコダイン(5) レスプレン(3) |
| 鎮咳去痰剤 | アスベリン散・錠・シロップ(13) |
| 鎮咳・鎮痛・解熱剤 | カフコデ(3) |
| 感冒薬 | いわゆる風邪薬（銘柄の記載なし）(2) ピーエイ配合錠(2) PL 顆粒 |
| 抗生物質 | 抗生物質（銘柄の記載なし）(7) 抗生物質（クラリス以外） |
| 抗生物質（複合抗生物質） | オーグメンチン(8) |
| 抗生物質（マクロライド系） | アジスロマイシン小児用細粒 10% |
| 抗生物質（カルバペネム系） | オラペネム小児用細粒 10% |

| | |
|-------------------|---|
| | フィニバックス メロペネウム(2) |
| 抗生物質（ペニシリン系） | ペニシリン系抗生剤（ドライシロップなど） アモキシシリン クラバモックス小児用DS サワシリン(4) ワイドシリン細粒(2) |
| 抗生物質（セフェム系） | セファメジン セフォチアム塩酸塩静注 セフカペン セフゾン細粒 セフメタゾン点滴 トミロン細粒小児用 20% バナンドS パンスポリン フロモックス顆粒(2) メリアクト小児用細粒 10% メリアクト顆粒(2) |
| 抗生物質（ニューキノロン系） | オゼックス トスフロキサシン細粒小児用 15% トスフロキサシン錠 |
| 抗アレルギー剤 | 抗アレルギー剤 |
| アレルギー性疾患治療剤 | アイピーディー アレグラ セチリジン フェキソフェナジン(2) ペリアクチン |
| 気管支拡張剤 | 気管支拡張剤（銘柄の記載なし） インタール吸入液(3) ツロブテロールテープ（0.5mg、1mg、2mg）(2) ホクナリンテープ(2) |
| 気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤 | オノン(2) モンテルカスト(2) |
| 糖尿病治療薬 | GLP-1 受容体作動薬 オゼンピック(2) グルカゴン ツイミーグ(2) トルリシティ(9) マンジャロ(5) |
| 高血圧治療薬 | アゼルニジピン シルニジピン ニフェジピン |

| | |
|--------------------|---|
| | ロサルヒドLD |
| 抗てんかん剤 | カルバマゼピン 100mg テグレトール バルプロ酸ナトリウム |
| 抗パーキンソン剤 | アキネトン アーテン |
| 抗リウマチ剤 | 抗リウマチ薬（銘柄の記載なし） リマチル |
| 抗うつ剤 | アモキサシ トリプタノール(3) ルジオミール(2) |
| 精神神経安定剤 | PZC 散 |
| 不整脈治療剤 | キノジン硫酸塩錠（原末のみ入荷） |
| 胃炎・胃潰瘍治療薬 | テプレノンカプセル |
| 消化管運動改善剤，制吐剤 | 消化剤（銘柄の記載なし） 嘔機止め（銘柄の記載なし） ナウゼリン(4) |
| 消化管運動調律剤 | セレキノシ |
| 止瀉剤、整腸剤 | フェロベリン配合錠 |
| 下痢止め | アドソルビン |
| 鎮痙剤 | コリオパン ブスコパン(4) |
| ワクチン | B型肝炎ワクチン |
| 止血剤 | アドナ錠(2) トラネキサム(2) トランサミン(5) |
| 合成副腎皮質ステロイド剤 | オルガドロン |
| 精神神経安定剤 | コントミン錠 |
| 減感作療法薬（アレルゲン免疫療法） | シダキュア(2) |
| マイナートランキライザー | ジアゼパム |
| ホルモン剤 | デュファストン錠 |
| 副腎皮質ホルモン・抗ヒスタミン配合剤 | セレスタミン |
| 片頭痛治療薬 | ゾーミックのジェネリック |
| 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤 | タムスロシン |
| 禁煙補助薬 | チャンピックス |
| ビタミン剤 | フルスルチアミン錠 ビタミン剤 ビタメジン(2) |
| 鉄剤 | 鉄剤 |
| 皮膚潰瘍治療薬 | 亜鉛華軟膏(2) |
| 蛋白アミノ酸製剤 | メルスモン注射(2) |

| | |
|-------|---|
| 漢方薬 | 漢方薬（銘柄の記載なし）（10） 葛根湯 芍薬甘草湯（2） 麻杏甘石湯 クラシエ防風通聖散エキス錠 |
| 局所麻酔剤 | 局所麻酔剤（銘柄の記載なし） キシロカイン 4% スルカイン |

- ・希望する包装規格（入数、バラ製品、PTP 製品など）を選択できない医薬品は多数あり
- ・購入実績のない製品は入手の見込みなし

② 今後入手困難になりそうな医薬品 ※かっこ内は複数回答の数

| | |
|--------------|---|
| 鎮痛解熱剤 | 鎮痛解熱剤（銘柄の記載なし）（10） SG 顆粒（2） カロナール（3） ソラントール |
| 鎮咳剤 | 咳止め（銘柄の記載なし）（18） アストミン（4） アスベリン（8） フスコデ（7） フスタゾール（2） ブスコパン メジコン |
| 去痰剤 | 去痰剤（銘柄の記載なし）（3） アンブロキシソール ムコソルバン ムコダイン（3） |
| 鎮咳去痰剤 | セキコデシロップ |
| 感冒薬 | 感冒薬（銘柄の記載なし）（2） PA 錠（2） アセトアミノフェン（2） |
| 抗生物質 | 抗生物質（銘柄の記載なし）（17） |
| 抗生物質（複合抗生物質） | オーグメンチン |
| 抗生物質（ペニシリン系） | ペニシリン系抗生剤（銘柄の記載なし） クラバモックス DS サワシリン（2） ワイドシリン |
| 抗生物質（セフェム系） | セフェム系抗生物質（銘柄の記載なし） セフカペン（2） |

| | |
|-------------------|---|
| | セフカペンピボキシル セフジトレンピボキシル セフトリアキソン(2) ロセフィン (セフトリアキソン) 点滴剤 |
| 抗生物質 (ニューキノロン系) | トスフロキサシン(2) |
| 抗アレルギー剤 | アレロック モンテルカスト錠 |
| 喘息治療剤 | キプレス パルミコート吸入液(2) |
| 気管支拡張剤 | 気管支拡張剤 (銘柄の記載なし) (2) クロモグリク酸ナトリウム吸入 ホクナリンテープ(5) |
| 吸入ステロイド喘息治療剤 | ブデソニド(2) |
| 気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤 | オノン |
| 気道粘液調整・粘膜正常化剤 | カルボシステイン(3) |
| 口腔用剤 | SP トローチ |
| 糖尿病治療薬 | 血糖の注射 (銘柄の記載なし) アマリール オゼンピック(2) トルリシティ(6) マンジャロ(4) メトフォルミン |
| 高血圧治療薬 | アムロジピン ニフェジピン(2) |
| 抗パーキンソン剤 | アーテン錠 タスモリン |
| 抗リウマチ剤 | リマチル |
| 抗うつ剤 | ルジオミール 25mg |
| 不整脈用剤 | メキシチール メキシレチン塩酸塩カプセル |
| 血管拡張剤 | アダラート(2) |
| 消化性潰瘍用剤 | セルベックス(2) ポラプレジンク マーロックス |
| 鎮痙剤 | チザニジン |
| 止血剤 | アドナ錠 (カルバゾクロム錠) (2) カルバゾクロムスルホン酸 トラネキサム酸(2) トランサミン(5) |
| pH 依存崩壊型 EPA 製剤 | イコサペント酸エチル |
| 子宮収縮剤 | エルゴメトリン |
| カリウム補給剤 | エリキシル |

| | |
|--------------------|---|
| ビタミン剤 | ビタミン剤（銘柄の記載なし）(3) アリチア配合錠 ノイロビタン(2) パンテチン細粒 リボフラビン錠 |
| 鉄剤 | 鉄剤（銘柄の記載なし）(2) クエン酸鉄 フェルムカプセル フェロミア |
| 局所麻酔剤 | キシロカイン |
| 血液凝固阻止剤 | ヘパフラッシュ |
| あへんアルカロイド系麻薬 | コデインリン酸塩 |
| 減感作療法薬（アレルゲン免疫療法） | シダキュア(2) |
| 片頭痛治療剤 | スマトリプタン |
| 副腎皮質ホルモン製剤 | 小児用デカドロン |
| 副腎皮質ホルモン・抗ヒスタミン配合剤 | セレスタミン |
| 漢方薬 | 漢方薬（銘柄の記載なし）(4) ツムラ（109：小柴胡湯加桔梗石膏） ツムラ（16：半夏厚朴湯） ツムラ（29：麦門冬湯） ツムラ（35：麻杏甘石湯） 葛根湯(2) 麦門冬湯 |
| 抗真菌剤 | ビホナゾールクリーム |
| 黄体・卵胞ホルモン配合剤 | プラノバル |
| 輸液 | 輸液（銘柄の記載なし） ミネリック（高カロリー輸液用微量元素製剤） |
| 抗ヒスタミン | レボセチリジン DS |
| 前立腺肥大症治療薬 | α 1 ブロッカー |
| 皮膚潰瘍治療薬 | 亜鉛華軟膏単軟膏 |
| その他 | 生食シリンジ(2) 粘弾性物質（手術用剤） |

- ・いろいろあります
- ・どんどん増えると思います

歯科診療所で入手できていない医薬品一覧（薬効別）

① 全く入手できない医薬品 ※かっこ内は複数回答の数

| | |
|------------------|---|
| 鎮痛解熱剤 | 鎮痛解熱剤（銘柄の記載なし）(2) カロナール(3) ロキソニン |
| 抗生物質（セフェム系） | セフカペンピボキシル 100g フロモックス メイアクト小児用細粒 |
| 抗生物質（ニューキノロン系） | トスキサシン 150mg |
| 抗生物質（ペニシリン系） | アモキシシリン サワシリン(3) |
| 局所麻酔剤 | キシロカイン |
| 止血剤 | スポンゼル(3) |
| 光重合型ガラスアイオノマー裏装材 | ビトラボンド |

② 今後入手困難になりそうな医薬品 ※かっこ内は複数回答の数

| | |
|--------------|--|
| 鎮痛解熱剤 | ロキソニン(2) |
| 抗生物質 | 抗生剤（銘柄の記載なし）(2) |
| 抗生物質（セフェム系） | フロモックス メイアクト |
| 抗生物質（ペニシリン系） | ペニシリン系抗生剤（銘柄の記載なし） アモキシシリン(2) サワシリン(2) |
| 局所麻酔剤 | オーラ注 |

2023年9月11日

岡山県保険医協会会員各位

医薬品の入手困難に関する緊急アンケート

平素より協会の諸事業にご高配を賜りありがとうございます。日医工と小林化工の薬機法違反に端を発する医薬品の不安定供給は、新型コロナ流行による追い打ちもあり、今なお事態の収拾には至っていません。そのようなさなか、「咳止めがまったく手に入らない」「免疫抑制剤がないので入院ができない」などの深刻な声が協会に寄せられ始めました。他県でも同様とのことです。当会ではこれまでも国に対し、医薬品の安定供給に積極的に取り組むことを要望してきましたが、改めての緊急要請を予定しています。つきましては、下記の実態調査にご協力くださいますようお願いいたします。

岡山県保険医協会 理事長 木村 哲也

1、基礎情報（該当するものに○印をおつけください。②はご記入ください）

基礎情報① ・病院 ・医科診療所 ・歯科診療所

基礎情報② 主たる診療科を1つだけご記入ください（ ）

2、今年8月以降、入手困難な医薬品はありますか？ 併せて薬剤の種類もご教示ください。

（例：咳止め、鎮痛解熱剤、抗生剤、麻酔剤、等） * 院外処方の場合、薬局の状況をお知らせください。

・入手困難な医薬品がある ・入手困難な医薬品はない

- ↳
- ① 全く入手できない医薬品
 - ② 今後入手困難になりそうな医薬品

3、医薬品が入手できなくなったことで診療への影響は起きていますか？

（例：検査ができない、入院ができない、等） * できるだけ具体的にご記入ください。

4、日医工と小林化工の薬機法違反の発覚（2020年4月）から既に3年が経過しているにもかかわらず、医薬品の不安定供給が今なお解消されていないことについて、どうお考えですか？ 併せて国への要望もお聞かせください。

* 不安定供給は、①原薬の調達不足、②多くの製薬メーカーで点検のため稼働力低下、③一部メーカーの工場売却による稼働停止、などが背景にあるとされています。

ご協力ありがとうございました

岡山県保険医協会（FAX 086-277-3371）までご返信ください